

会 議 録

会議名 (審議会等名)	第12回東小金井駅北口まちづくり協議会		
事務局 (担当課)	開発事業本部区画整理課		
開催日時	平成23年2月2日(水) 19時00～21時10分		
開催場所	小金井市区画整理課事務所内		
出席者	委員	大沢昌玄・加藤常雄・齊藤 敏・池亀吉信・大矢榮子 土屋隆男・土屋晴彦・中村昭英・立川 明・小島義一・高橋清徳 市川 裕・鴨志田春雄	
	新都市等	高麗 誠・馬場勝彦・芳賀 稔・松下佳広・中村真弓	
	事務局	高橋 智・梅原啓太郎・吉永浩一郎・日野靖久・原嶋 薫	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	5名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	1 開会 2 議題 交通広場、駅前公園、都市計画道路等の整備イメージのとりまとめ 3 その他 4 閉会		
会議結果	前回の協議会の主な議論のまとめ及び、交通広場、駅前公園、都市計画道路等の整備イメージのとりまとめについて事務局より説明し、話し合いを行った。		
提出資料	1. 次第 2. 資料1～4		

審議経過

- 事務局 今回は第3次協議会が最終回を迎えるため、市長から挨拶があります。
- 市長 お忙しい中、寒い中、協議会にお集まりいただきありがとうございます。東小金井駅北口まちづくり協議会については第1次、第2次を経て第3次となったわけですが、公共施設等の整備を行うにあたり、交通広場や駅前公園、都市計画道路等の主要な公共施設の整備イメージについて、平成21年5月から平成23年2月にかけて検討していただきました。会長をはじめ委員の皆さん、本当にありがとうございます。東小金井駅北口土地区画整理事業につきましては、地権者の方々や関係者の多大なご理解をいただきながら、平成20年7月に換地設計案の決定を行い、平成20年11月から道路築造工事等を開始しました。東小金井駅におけるJR中央本線連続立体交差事業も完成目前にあたり、街の将来像も見え始めてきました。引き続き、交通広場等の主要な公共施設の整備にも順次着手していきます。今回の協議会で検討した整備イメージをもとに整備を進めて参ります。今後も同事業によるまちづくりを推進し、市の東部地区の中心核として東小金井を発展させていきたいので、ご理解、ご協力をお願いしたいと思います。
- 会長 お世話になりありがとうございました。
- 会長 ありがとうございます。今日はこれまでご議論いただいた駅前広場、駅前公園、都市計画道路等のデザインのとりまとめということでご議論いただき、最終回としたいと思いますので、よろしくをお願いします。
- 事務局 それでは、配布資料の確認をさせていただきます。
(配布資料等の確認)
(資料1～4の説明)
- 25 ページの下に交番の設置について書いてあります。交番の設置位置は協議会で検討した際、交通広場に設置するのは望ましくないという意見が出たので、それをふまえて原案を作成しました。市では今後十分に検討を行い、関係機関と協議し、まちづくりニュース等でお知らせします。
- 70 ページの2のより良いまちづくりについても、修正案を作成しました。市としては、地域の方々による街の運営管理について、意見をいただく場を設けることを検討しています。その際はぜひ参加いただきたいと思います。
- 会長 最後なのでまとめとして説明いただきましたが何か分からないことはありますか。
- A委員 25 ページで、交番の設置場所を交通広場にするのは「望ましくないのではないかな」ではなく、「望ましくない」だったはず。「他の設置位置についても検討する」の「も」はいらないと思います。なぜこのようなソフトな言い方になってしまったのでしょうか。協議会でもこれまで交通広場の真ん中に交番をつくるべきでないとやってきました。
- 会長 まちづくり協議会からの意見として最終的には私が市長に話をしますし、そういう意見があったことを強く表記いたします。
- B委員 意見があったのではなく、協議会の総意です。
- 会長 それも含めて対応いたします。
- A委員 長文にわたって修正が入っているところがあるので、今の時間内に何かあります

かと言われても困ります。いつまで質問を受け付けるという余裕はないのでしょうか。

会長 皆さんもそう思っているかもしれませんが、何月何日まで質問を受け付けることにしましょう。日時については最後に連絡します。

C委員 東小金井駅の1日の乗降客数はどれくらいなのかご存知でしょうか。

事務局 大体乗降客数で5万7～8千人であります。

C委員 半分の3万人近くが東小金井駅北口を利用していることになります。駅から出て東側、西側、北側の3方向に均等に分けられるとすると、それぞれ1万人ずつになります。梶野通りの西側を通る人は、交通広場の外周を回って、16mと20mの道路にある信号をそれぞれ渡らなければなりません。ここを利用する人は、現在5千人くらいになります。その人たちが交通広場の外周をまわらなければならないことを市はどう思っているのでしょうか。都市計画だから我慢しろということなのでしょうか。片方の信号を渡るのには2分かかるので、両方で4分かかってしまいます。

事務局 確かに横断歩道は2回渡らなければなりません。信号が両方とも赤というのは数秒はあるかもしれませんが、どちらかは必ず青です。その青の方の信号を渡っていただき、一旦は信号待ちをしていただきます。交通広場を反対側（西側）から回った場合は横断歩道は1回ですが、赤だったら1回は信号待ちをしていただくことになります。信号待ちを2回するという考えは持っていません。

C委員 西側を通った場合、信号は1回ですが距離が2倍くらいになります。そんな都市計画はいいのでしょうか。

事務局 このような広い道路を作り、賑わいが増して、将来、交通量が増えてくる道路に信号機がない場合や狭い道路では交通処理が困難になります。そういった中で都市計画道路を作らなければなりません。このような道路で信号がないまま道路を横断するのは非常に危険であり、どうしても横断歩道が必要になりますし、交差点には信号が必要になります。

C委員 信号まで行くためには交通広場の外周を回らなければなりません。梶野通りの西側に行くのに真っすぐ行ければ2～3分で行けます。

事務局 どちらにしても信号は渡ることになります。信号のサイクルはまだ決まっていません。

C委員 今日、小金井警察署に電話したところ、「交通広場については都市計画道路との繋ぎ目の所までは意見を出しますが、交通広場については皆さんで相談して決めてください。」とおっしゃっていました。

事務局 交差点もそうですが、交通広場の中については警視庁本部のほうで協議しなければならない部分があります。今、おっしゃった意見を取り入れて直線距離で通れる道を作った場合、バスが1台も停まれないですし、タクシーのプールもありません、一般乗降客の小型の車だけが入れるものとなってしまいます。バス2台、タクシープール、身障者用車両、一般乗降客用の車が入れるようにするには今の形しかありません。

C委員 形を変えろとは言っておりません。行き方を変えて欲しいと言っています。

事務局 行き方を変えるには形を変えざるを得ません。

C委員 このままでは土地を提供した者にとっては情けないものになってしまいます。も

し、信号を2つ渡らなければいけない駅があったら教えてください。私もいろいろ考えて、他市の交通広場の三鷹駅北口、武蔵境駅南口、花小金井駅北口と南口、東村山駅東口を視察に行きました。

事務局 新しい駅では信号機を設置していないものはまずないと思います。古い駅なら人が縦横無尽に歩いている駅もいろいろあります。新しい道路を作り、新しい駅を作る場合にはしっかり横断歩道と交差点を設け、信号処理をしています。

C委員 新しいというのはどれくらいの年数なのでしょうか。

事務局 隣の駅もそうですが、大きな道路には必ず横断歩道があります。今の案にせざるを得ないですし、コンコースから出っ張り部分へ真つすぐ渡るのは大変危険です。

D委員 今回の案だと東小金井駅の横断歩道は全て信号があります。交通広場内に信号のない横断歩道を作れと言っているんですよね。三鷹も武蔵境も横断歩道はあっても信号がついておりません。歩行者優先です。年がら年中渋滞して走ってくるわけではないので、今ある横断歩道の南側のところに横断歩道を作ればよいと思います。

事務局 出っ張りのところに横断歩道を作る話が以前に出て警視庁の本部と協議したことがあります。警視庁の意見からすると、新しい駅については歩行者は歩道を歩いてもらい、交通処理をしているところを横断することを許可することはないと言っています。

C委員 小金井警察署に聞いたら、出っ張りのところの歩道に関しては協議会で決めてくださいと言われました。

事務局 警察署では、交差点やロータリー内の交通処理等については協議できません。警視庁の意見が優先されます。横断歩道同士を近接して作るのは困難です。

4, 400㎡しかないロータリーでは、交通広場内に横断歩道を設置する許可が下りません。

C委員 小金井市以外で却下された例はあるのでしょうか。

事務局 南多摩の駅でも反対に渡れるような横断歩道はありません。外周の中を横断させるところはありません。

C委員 武蔵境のイトーヨーカドーの前には交通広場の中に横断歩道があります。

事務局 そこは2.5倍くらいの広さがあります。規模が全然違います。

D委員 東館と西館の間にも信号はありません。

C委員 協議会は皆が納得しなければいけないのではないのでしょうか。これでは納得できません。

事務局 警視庁に話をしたら許可が出ませんでした。協議会で他の場所の意見を持って行ってもおそらく許可が出ないと思います。

C委員 どういう理由でしょうか。

事務局 交通広場内での横断は危険だから避けて欲しいという理由です。

C委員 他の駅では事故が無いのに何故危険なのでしょう。

事務局 近くに横断歩道があるのでそちらを通ってくださると指導されます。

D委員 警視庁の考えだけで全て決められては協議会の意味がありません。

C委員 みんな人間心理として、最短距離を渡ろうとします。歩道でもない最短距離のところを誰かが渡って事故が起きたら、協議会が責任を持つのでしょうか。

事務局 中を横断できないよう横断防止柵を設置するので事故は起こらないと思います。

会長　　今まで何回も協議会で議論して決まったことをもう一回、蒸し返して議論、議論しても進歩ないなと思います。自分の方の家に向かって便利にしてくれということだけでなく、交通広場がないところに交通広場ができるなど、事業全体のことを考え、小金井市の発展の方に視点を向けていただきたいと思います。武蔵小金井で人の処理をどのようにしたのか、部長の口から説明をお願いします。

事務局　　武蔵小金井駅南口をみると、警視庁協議を経て完成形で近づいていますが、ほとんど、東小金井駅と同じです。交通処理の原点は、車道と歩道を分離して考えます。ロータリー内に横断歩道があるとスムーズな通行が阻害されます。長い距離を人が渡るとなると時間がかかります。その間、車が止まります。車が阻害されますし、人も危険になります。

会長　　武蔵小金井でも歩道はぐるりと回って、真ん中を渡ることは許されなかったということですか。

事務局　　そうです。

A委員　　交番が仮に出っ張ったところにできたとなると、逆に横断歩道を設置して交番へのアクセスが良い方がいいのではないのでしょうか。

E委員　　信号において、1回の青でバスやタクシーが5台も6台も交通広場の中に来ることがあるのでしょうか。

事務局　　今の街の状況では確かにありません。ある程度、建物ができると交通量が増えます、それを見据えて判断しています。

E委員　　自転車が圧倒的に多いのではないのでしょうか。

事務局　　今のところはそうですが、商店に来る車が来ることがあります。バス、タクシー、一般車を踏まえた上で話しています。

E委員　　南の三角の交通島がありますが、安全地帯のような場所になると思います。そこだったら、横断歩道を設置するための距離を稼げるのではないですか。

事務局　　この部分は面積はありません。また、緊急用車両などが通るところに横断歩道をつけることになってしまいます。普段は、一般車やタクシーなどの駐車場となりますので、ここに横断歩道を設けると車は止められませんので無理です。

F委員　　交通広場内に横断歩道を設ければ、距離的には最短ですがそれは大間違いです。そこに横断歩道を作ってしまうと、信号はないけれど安全であると協議会がお墨付きを与えてしまうことになります。

C委員　　私が調べた交通広場では、信号がなくても全く事故が起こっていません。

F委員　　それは今までの話であってこれから起こるかもしれません。

会長　　事故があっても表に出てこない場合があるため、結構な数があるかもしれません。

G委員　　安全対策上、ご要望のところに横断歩道の設置は認められる構造ではありません。交差点をスクランブル交差点にすることも考えられます。ただし、スクランブル交差点にすると、逆に時間のロスになることもあります。

事務局　　警視庁に聞いたところ、効率が悪いために今はスクランブル交差点を新たに設置することは認めていないそうです。協議会の中で横断歩道やスクランブル交差点の話は以前から出ていました。それは協議会で判断するのではなく、警視庁に判断を仰いできて、このような形になりました。

会長　　それは何年前ですか。

事務局 2年ほど前、初期の頃です。議論を積み上げてきた結果が今の案です。小金井警察の交通規制課は横断歩道についての市民の意見を聞く場です。都市計画道路や新しい交通広場に関しては警視庁となります。

警視庁の方から小金井警察署に判断を任せる場合もありますが、最初は警視庁が決めます。

C委員 そうすると、警視庁と小金井警察署の考え方が食い違うことがあるのでしょうか。

事務局 食い違う場合は、最終的には警視庁の意見に小金井警察署は従うことになると思われます。小金井警察署が協議会で決めていいと言っているのは、花壇やシェルター、樹木、横断防止柵等の景観のことを言っているのではないのでしょうか。

H委員 横断歩道を作ってもそんなに距離は変わらないと思います。

A委員 交通広場の北西側の人は、もっと大回りすることになります。以前から協議をしてきて最終的には今のようになり、個人的にもその人はかなり不便になると思いましたが。その分、将来的に人が増えて、歩道も綺麗になり、年配の人も歩きやすくなるなど、交通広場を大きくなるとすればその不便も仕方がないと思います。

C委員 しかし、駅から2分と駅から5分とでは心理的にも違います。

会長 まちづくりだから、良くなる人も悪くなる人もそれぞれ評価をしてきて街が出来上がります。ここだけの人でなく、たくさんの税金も使われています。

事務局 一つ一つできるところは丁寧にやってきました。ご意見はいろいろあるでしょうが出来ることと出来ないことがあります。

E委員 横断歩道を作って欲しいと署名運動をすればいいと思います。小金井警察署に持っていけばいいのでしょうか。

事務局 検討はしてくれるとことはあると思いますが、署名をしたから必ず設置されるとは限りません。検討してくれる可能性はあると言う事です。

会長 「円滑な人の動線処理を願いたい。」「協議会としては、人のスムーズな流れについて考えていただきたい。」という旨の文言を入れてください。

B委員 シェルターは和風にするといった文言が前回発言したのに入っていません。入れてください。

会長 私も気になったので文言は入れてください。けれども、実際は事業費が足りないと思います。

G委員 都としても国に対して予算をつけてくださいとお願いはしています。

会長 ただ、気になるのは、国、都、市の予算にも限界があることです。

B委員 同じ予算でも競争入札の際に、小金井らしさのイメージを伝えて、そのイメージを実施設計で実現できる会社に発注する、というやりかたにしてもらえればいいと思います。

会長 「協議会としては円滑な事業展開を望む」、「小金井らしさを出せる会社に発注する」との旨の文を入れましょう。協議会としても責任を持ちたいところがあります。文章を読んで、後日意見をいただく話がありましたが、意見があったら言っていただきたいと思います。行政ばかり頼るのではなく、わたしたちも何らかの形で少し力を出したいという意見もあれば書いてください。最後の協議会なので、まちづくりについて、委員の方に一言づつお願いしたいと思います。

G委員 これを整理したのはひとつの通過点です。今後、事業を行い、出来たものを地域

の人がうまく管理し、エリアマネジメントして、協議会の人たちが自分たちでこの街をこうしていこうという団体みたいなものをつくりながら、将来の街を考えていて欲しいと思います。

F 委員　今回の協議会は公共施設のデザインのコンセプトを決めただけです。同じ予算でも使い方であり、小金井らしさを出してもらいたいと思います。出来てからがスタートであって、終わりではありません。今回はまちづくり協議会ですが「まち育て」に変えなければいけないと思います。

会長　まちづくり協議会から、「まち育て協議会」、「まち育て会議」などに発展していくべきであるので、この一行を入れてください。

D 委員　我々の意見はなかなか通りません。出来てから不便になったことは役所が修正してくれることを期待します。

H 委員　我々の意見が反映されていないところがあります。

会長　議事録はどうなっているのでしょうか。少なくとも委員の皆さんに議事録を配って欲しいと思います。

A 委員　私は元々、土地区画整理に反対でした。辺りな感じの東小金井が好きでしたが、長い目でみて、駅前が土地区画整理で変わり、将来的に皆が住みやすく愛されるまちになったらいいという気持ちで参加してきました。個人的にもいい勉強になりました。これで終わりではありません。これからが勝負です。

会長　全国で連続立体交差事業、踏切をなくそう運動をやってきて、電車は上にいくけれども土地区画整理が全然出来ない、駅ビルも出来ない街がたくさんあります。それに比べるとここは本当に苦労されました。最初は反対された人、区域除外された人等がおられました。今になってみると、土地区画整理と一緒にやって良かったという人が出てくると思います。

I 委員　地区計画によってビル化に伴い1階が店舗や事務所になるので、商売される方は繁盛することによりオーナーも潤うと思うので、少しでも良い街になるといいと思います。

会長　商店街の賑わいの話が出たが、将来的に人も賑わう街にしていくことが大事です。

J 委員　いろいろと参考になりました。

会長　これがスタートみたいなものだから、機会があったら意見をいただきたいと思います。

K 委員　どうしたら商店街が活性化するか意見がありませんでした。道路を広げただけでは駄目だと思います。どうしたら商店街を活性化できるか意見が欲しいです。何万人もの人が乗り降りするが、歩道をどうするのか、具体的な説明がありませんでした。

会長　それは市の担当者がこれから実施設計を行っていくと思います。

B 委員　私も東小金井が好きです。自然の植物を植えようという話がありましたが、ナチュラルな植栽にしたなら小金井らしいと思います。

会長　土地区画整理をするときに、路地を作るのが非常に大変で、ほっとするような道を作るのには苦労していますが、協議会の皆さんだけでなく、傍聴席の方も含め、皆で育てていかなければなりません。行政や皆さんでやるべきです。宮崎の小学生が自分たちの街を愛するというを一生懸命やっていますが、子供たちは機敏に

動く、親に意見を言う、親は子供に意見を言う、子供は親になったときに自分の子供に伝えていくというようにサイクルになっていくと思いますので、参考にさせていただきたいと思います。

L委員 細かいところはまだまだ協議しなければいけません。不満がたくさん残っています。協議に警視庁の職員、JRの職員も参加して欲しかったです。協議してみたが駄目でした、というのがあって、その人たちが直接、なぜ駄目なのかを説明してもらい、我々も納得した上でより深く協議すれば、また案が出たと思います。もっと協議会を開いてさらに深く協議を進めたいと思います。

会長 私の経験上、JR職員は出てくることはありましたが、警視庁は出てきません。警視庁と話せる機会があったら話をしてみたいと思います。出来る範囲で努力して欲しいと思います。あまりかしこまらずに、懇談会のような形式でいいと思います。

E委員 JRや警視庁と一度でも話せる機会があったら良かったと思います。皆さんの意見が聞けて良かったです。

傍聴人 江の島入口交差点にあるような地下道ができたらいいと思います。公園が出来るのに反対の声が結構あります。パチンコ屋が出来るよりはいいのですが、公園で子供を遊ばせるのは心配という声もありました。あとは道路が広く、人が流れていかないか心配です。

会長 将来交通予測や調査を重ねて原案に至りました。昔風な道が出来ないのは残念ですが、連続立体交差事業、駅前広場、幹線道路の整備等の仕組み的な問題のためです。駅前に市民公園のような公園を作るわけで、小金井市は大変な苦勞をしたと思います。今後、皆さんの力がないと公園は死んでしまいます。H委員が駅前広場と市民公園が一体となるよう考えなさいと言ったのには驚きました。駅前において、原寸でどのように配置されるかチョークで書いてみて欲しいと思います。人がいなければ呼んで手伝ってもらえばいいと思います。

傍聴人 駅前を直線で渡れないならば、地下道を作ればいいと思います。

会長 部長も聞いておられるので今後どうなるか分かりません。しかし、地下道が防犯面で考えると必ずしも安全とはいえません。便利だけを追求してはいけません。せっかく太陽の下を歩こうという街が何で無理やりそうしないといけないのか宿題であると思います。だけど、貴重な意見ですので、そういう処置の仕方もあるので、「まちは、市民も行政も長い目で見て検討を続ける」とどこかに留めていきたいなと、書き残していきたいなと思います。

今日は傍聴いただきありがとうございました。各委員の皆さんも12回に渡りありがとうございました。委員からいただいた意見や要望をまとめ、市長に提言したいと思います。併せて、今後も発展的にまちづくり協議会に育てていただきたいとお願いします。ありがとうございました。

事務局 お気付きの点があった場合、2月9日まで意見を受け付けるのでよろしくお願い致します。

会長に確認のうえ、とりまとめに反映させます。今回のテーマでの協議会は最終回です。次の協議会は検討中であり、決まりましたらお知らせします。

以上